

8.サブプロシージャを使いこなす

▶ サブプロシージャとは?



MESSAGE

プログラムのあちこちで同じコマンドを使うことはとても多い。
そのコマンドが短いものなら気にしなくてもいいけど、もし

A=12345:?"ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ":B=23456

というような長いものだったらどうしよう。
あちこちで同じコマンドを打つのはとても大変だ。
そんなときは「サブプロシージャ」を使おう。
長いコマンドをあちこちで使うのがとても楽になるぞ。

たくさんコマンドがつながって打つのがとても大変だけれど何回も実行したいコマンド:コマンド1
:コマンド2:たくさんコマンドがつながって打つのがとても大変だけれど何回も実行したいコマンド:コマンド3:たくさんコマンドがつながって打つのがとても大変だけれど何回も実行したいコマンド:コマンド4:コマンド5:たくさんコマンドがつながって打つのがとても大変だけれど何回も実行したいコマンド

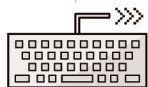


長いコマンドを何度も打つのは大変で、プログラムも読みにくい



★:コマンド1:コマンド2:★:コマンド3:★:コマンド4:コマンド5:★

★…たくさんコマンドがつながって打つのがとても大変だけれど何回も実行したいコマンド



サブプロシージャを使うと、打つのが楽になるし、プログラムも読みやすい



講師への解説

サブプロシージャとは、ある一連の処理を単位としてまとめたものです。
プログラムは複雑な処理が増えるほど長くなり、処理の流れも複雑になります。
そうすると、プログラム全体を読んで内容を理解することが難しくなってしまいます。
しかし複雑な処理が多くても、プログラムの一部分を「小さな単位＝サブプロシージャ」という単位でまとめていくことで、読み易い・理解し易いものにすることができます。
(プログラムの読み易さ・理解し易さを可読性と言います)

サブプロシージャには、以下のようなメリットがあります。

1. 同じ処理を何度も記述する手間が省ける
2. 同じ処理が何度も登場するようなプログラムを書きやすくなる
3. プログラムが読み易くなる
4. プログラムを直しやすくなる

サブプロシージャと同じような役割を担うものに「関数」があります。
関数とサブプロシージャの違いは「それに対する入出力があるかないか」です。
ただしIchigoJamでは厳密な意味での関数を定義することができません。
また、サブプロシージャと関数の違いは僅かなものであるため
(プログラミング言語によってはふたつを区別しないものもあります)、
本Unitではサブプロシージャについてのみ学びます。